

高次脳機能講演会 高次脳機能障害の理解から支援へ

特定非営利活動法人 宝塚高次脳機能障害共生の会
〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 5-3-34 エスティ宝塚 106 号

助成事業の概要

日時：2016 年 11 月 6 日（日）10：00～16：00

場所：宝塚ソリオホール

対象：高次脳機能障害に関心のある住民、当事者、家族、支援者

10：00～12：00 ワークショップ（67 名）

関心のある住民の方、当事者、ご家族、支援者など幅広い方 10 グループに分かれ、高次脳機能障害の特徴や支援、工夫について話し合いを実施した。

13：00～13：50（142 名）当事者・家族の体験談

交通事故により高次脳機能障害の後遺症が残存しながらも働く当事者とご家族の体験談、インタビューを実施した。

14：00～15：10（142 名）橋本圭司先生講演「高次脳機能障害者どのように対応するか一子どもから高齢者まで」高次脳機能障害に対する先駆的な取り組みをされている橋本先生による講義を実施した。

15：20～16：00 質疑応答

橋本先生との質疑応答 日常生活や社会生活での困りごとについて活発な質疑応答がなされた。

事業の成果

高次脳機能障害は外見からは分かりにくく、周囲のみではなくご本人も理解しがたい症状です。

今回の講演会・ワークショップが、当事者・ご家族にとっては日ごろの困りごとへの工夫や対処法を習得して日々の生活に汎化するための有用な情報になったと考えます。また、支援者にとっては、実施の生の声を聴くことにより、日々の支援の改善や技術の向上に役立つ情報が得られたのではと考えます。

ワークショップで参加者同士が近い距離で、日ごろの困りごとや情報交換を実施したことにより、参加者からは「生の声を聴けて勉強になった」「そんなことが困るのかといったことで驚いた」という感想をいただきました。障害を持つ方が自分らしく生活する為には、地域のいろいろな住民や機関が連携して障害を理解し、支援することが必要であると思われます。ワークショップを実施したことにより、近隣の支援機関や当事者とのネットワークの構築の一助になったと考えます。

2 部の当事者とご家族の体験談では、障害が見えにくく、就職するも、失敗経験をしてしまい、それがきっかけで退職を余儀なくされた生の話も聞くことができ、支援者にとっても有用な情報になったと思われます。

3 部の橋本先生の講演は、難しい高次脳機能障害に対して、どのような視点でかかわればよいか、障害によりできないことに焦点を当て続けるのではなく、できることに目を向けることの重要性や、ご家族の大変さ、ご家族に対するケアの重要性をお話ししていただきました。参加者からは沢山の質問や相談があがり、それに丁寧にお答えいただき、対処が難しいとされる高次脳機能障害をお持ちの方のご家族が安心し、家庭でも使える工夫を

持って帰っていただくことができたと考えます。

約 150 名の方にご参加いただき、これまでにない盛況で終えることができました。当事業所についての広報にもつながり、見学やお問合せのご連絡もいただいております。

■ 成果の広報、公表

ホームページブログへの掲載、施設のニュースレターへの掲載をいたします。また、会の様子についての動画 DVD を作成し、希望者への貸し出しを実施しています。その他、当法人主催の家族会、交流会での報告や DVD 鑑賞を実施します。外部に講師として講義を実施する際の参考資料としても資料や DVD を用います。

■ 今後の展開

年 1 回実施している講演会・ワークショップは年々規模も拡大しており、参加者も増加しています。助成金を頂いたことで、規模を大きくし、遠方から講師を招いて講演会を実施することができました。

今後もいろいろなテーマを用いて、多数の参加者の方に参加していただける会を企画していきます。

アンケートから、講演の内容も変化させ、高次脳機能障害への理解をさらに深めて地域での支援が可能になる内容にしていきます。

さらに今後は、具体的な高次脳機能障害に焦点を絞ったテーマでより専門的な支援技術を身に付けることができる研修内容も検討していきます。